

ちよつとい話

～めぐり合う～

人生は合縁奇縁、色々な出会いがあります。この世で一番は（良い悪いは別にして）両親でしょう。そして育成する過程に従って遭遇する一々がめぐりあいです。誰しも全ての出会いに善い縁が頂ける事を望んでいるはずです。仏教では出会う事を因縁と言います。母親の胎内に宿った命、この初めての出会いが即ち宿命です。ですからすこしでも因縁の良い一生を送る為には縁を結ぶ結婚について熟慮しなければなりません。不幸にして悪い宿命を持って誕生してしまったとしても、心配後無用、この娑婆は修行の道場だからです。自らが善行、陰徳を積み重ねる努力をする事によって人生の出会いを変改する事が出来ます。人間の魂をもって生まれたならば人と人との間を取り持てなくては人間失格となってしまう。個に陥れば自閉症を誘発しやすくなり大変です。とにかく三歳までに魂を打ち込む必要がある。と昔から言われる様に躰しつけをしっかりしなくてはと思います。履き違えによる、児童の虐待が問題視されております。要するに小さい時から出会いを大切に捉えとらないで成育し、精神的に大人に成れない、親には勿論なれない仮面人間が増えているのが原因かと思われます。我々は小児より神社、仏閣に詣でる儀式が多くあります。神社、仏閣に詣で祈念する事によって、仏心をさらに植え付け、まずは自身の言動に縁って他の人々を傷つける事無く育成するように指導する事です。魂は先祖代々、過去、現在、未来へと継承されるものであり、人間が作り出せるものではない。出会いは魂と魂のぶつかり合いです。良き巡り合いを祈念致し。 転迷開悟

善入院油掛地藏尊